
~ 苦い恋愛話 ~

リンカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「 苦い恋愛話 」

【Zコード】

N5222C

【作者名】

リンク

【あらすじ】

主人公あいが、体験した小学校3年から、現在中学2年に至るまでの、涙と感動の物語りデス

プロローグ（前書き）

なし

プロローグ

私は、現在中学2年生！！

その苦い恋愛わ、私が小学3年生の時カラはじまる。

涙と感動の実話デス！！

長いとおもいますが、

頑張つて書きます

プロローグ（後書き）

なし

第一章 初恋の人

時ワ

今から5年前

あたしわ、初恋の人に出逢う

その時まだ幼かつた私にわ、

人を好きになることが、

どおゆう事なのか、

まだ知らないでいた。

一度、恋をした人わ

分かるだろう。

人を好きになるのわ

毎日が楽しくて、

嬉しくて、

その日その人に逢えた事で、

気分がよくなる。

学校がやすみの日わ

妙に淋しくて、虚しくて・・・

月曜日の朝わなぜか

はつきつて学校。

その人を見るだけで安心するような。

フワフワと宙に浮いた感じ。

でも、それと同時に

悲しくて、

心が張り裂けるくらい

好きで、好きで。

凄く好きなのに、

相手わそんなあたしに、

きずてるのか、

きずいてナイのか。。。

不安になる。

でも、周りの人にも

恥ずかしくていえなかつた。

この頃のあたしわ・・・まだ本当の恋を知らなかつた。

あたしわ独り、この心の痛れに、

立ち向かうしが、ナイのかな。

そう思つてた。でも、

無理だつた。たつた一つの心でわ

納まらないくらい、

その人が好き。

その事を、その時ものすゞぐ、仲のヨカッタ、友達に話した・・・。

話終えた途端、心が軽くなつて、

相手の男子の事を、

もっと、もっと

今以上に好きになる事が出来る。

そう感じた！！

その時、まだあたしにわ、

一生消える事がナイ

存在が彼だという事に、

キズかないでいた。

第2章／幸運と痛み

あいのクラスわ 3年2組

”

”

今日は席がえ

”

”

少しの希望をもつて、
くじをひく。。

7番

「はーい。でわ皆さん、黒板の図を見ながら、席を移動して。」

ガタ・・ガタツ・・・

「あつー。」かあ。一番うしろかあ

「ああ、オレの横

お前? ?」「うん! ! ようじく。」

「お。 おう、 、 、
よろしく。」 あたしわなんと、

初恋の人、ダイチの

隣だつた。 。

休み時間！ ！

その頃仲のヨカッタ、

親友と3人でよく行動してた。

綾と玲奈わいつもあたしに、

励ましてくれてた。

実際、ダイチが女子と話してるのを見せて

心の奥が痛かつた。

お前? ?」「んッッ! ?」「

「よく寝てんなあ

「悪かつたなあ。

「やつ! 別に・・・

「アハハハ

「アハハハ

些細な事でも、ダイチと話せた事だけで嬉しかったー!ー

この時、(ひょっとしたら、ダイチもあたしの事・・・・・)

そんな希望もあつた。でも・・・・・・・ううして聞こ

小学3年が終わった。

春休みを終えて、

クラス替え。

結果わ・・・・・・

×

あたしわ悲しかつた。

彼のいないクラスわ

何故か落ち着かなくて・・・・・・

また一年が過ぎた。

小学5年の最後の日。

あたしわ願つた。

この学年でわダイチと

同じクラスにしてください！！

でも・・・

結果わ ・ ・ ・ ・ ・

×

あたしわ、神様なんか、

いないとこの時

心が決めた。

また1年が過ぎ。

小学校生活最後の学年。

この時もやっぱり、

ダイチの事が好きで

同じクラスになりたい。

でも、なれない。

今まで

「一分の1」の確率で

あいとダイチわ離れてしまつてた。

でも・・・

結果わ・・・

同じクラスだつた！！

あたしわ、

凄く

‘

もの凄くうれしくて、

親友とも同じで・・・／

幸せだった！

この時までわ・・・／

第4章／自殺未遂

それから、あたしわ

毎日のよひに、学校にいった。

ゆつになかったけど、

ダイチとクラスが

離れてカラ、あんまりいってナイ。

不登校といっか、

あたしわいかなかった。

ダイチのいなーいクラスわ

居心地が悪くて、

気持ち悪かった。

それでも、あたしわ

勉強は出来た。

わかぬいけど、まだこの時わ

馬鹿でわなかつた。

だけど、あたしわ

死にたくなよおな

言葉を

ダイチにいわれた。。。。

「お前、うざい!」

一番いわれたくなかつた。

(あたしわ、

世界で一番嫌われたくナイ人に、

嫌われてしまつた・・・・・。)

もう、

生きてケないよ・・

もうダメだよ · · ·

お父さん

お母さん

『メンツナサイ

あたしわその血で、

手首わ凄く切れてた

ビュツツツ

痛ツツツ

手首にカッターの刃を・・・・・・

あたしわ、左手の

文を書いた。。

「テアーダイチ

「ゴメンナサイ。あたしわもう。

ダイチ、貴方わ

きずいてなかつたかもだけど、

あたしわ大好きでした。

ダイチの事ずっと・・・・・

でも、もう無理です。」コレ見て、ダイチ わ

泣いてくれる？？？

悲しんでくれる？／

そんな訳ナイ

だつてあたしわ

うざい””んだよね。

大好きな人に、

うざい””つてゆわれたら、どんな気持ちか・・・ダイチにわ・・・

・・・・・

一生わかないよね・・・だから・・・・

もう、あたしの事わ

忘れてください

第4章～病院～

遠のく意識の中、

あたしわ、血で汚れた手を見た。

血をみた途端、

頭が真っ白になつた。

でも、その中に浮かぶ顔わ、

親でも、

友達でも

ペジアでも

なくて・・・

ダイチだつた・・・・・・・

なんで、今さら

ダイチの顔が?/?/?

やめて。

あたしの中二、

現れないで。

もう2度と・・・・・・・・・・・

もう、あたしを

くぬじませるのわ

終わりにして、ぐだわい。

助けて。

誰か・・・・・・・

あたしを助けて・・・・・

もう、このπにわ

いたくない

早く迎えに来て・・・・・

その時、

一瞬ダイチが

頭の中であい
”
”つて

よんだ。

幻聴かと思った。

でも

あ
た
し
わ

目
を
・
・

目
を開
け
て
・
・
・

え
つ
ツ
ツ
！
！

あ
い
”
”

あ
い
”
”

田を開けてみたそこは、見た事もない

薬の臭い漂つ、

周りは白い壁で・・・・・・・

そこは、。。 病院だった。

「」！？

なんで？？

あたし、さつきまで

あたしわ、あたしの

部屋で血に染まっていたの……

なんで、今さら

ダイチの顔が？？？

やめて。

あたしの中に、

現れないで。

もう2度と……………

もう、あたしを
くぬぐめるのか

終わりにして、ください。

～生きる事への決意～

あたしわめひやめひや、
暴れた・・・・・

そして、

点滴をひきつた。

出血わしたけど、

対した事ナイから、

無視した。

むしろ、あたしわ

それからまでの、

部屋の中血にまみれてた。

あたしわ、約2週間

眠つたままだつたらしい

ずっと

死んだよう。

このまま、死ねば

楽だったのに・・・

そおおもいながら

病院の廊下をひたすらこ

あるいた。

ついた先わ・・・

屋上だつた・・・

「もう一度死ねば

「いいだけだよね」

あたしわ柵に手をかけた。

「おひるね…」

「ダイチ? 何かよう? ?」

「俺、お前の名前

ずっと呼んでた。

聞こえた??

ずっと、お前が寝ている

2週間、毎日毎日ー

「別に・・・・・」

「そつか。

なんで、死のうとした?」

ダイチわやつぱり

分かってなかつた。

あたしが、変わった理由を・・・

無性に腹が立つた。

「うざい。 それがけ。」

「はッ！？何？？」

「いいから、ほつといて。」

「オイ！」

お前が死んだら、

オレわ、どうしたら、イイ？？

「別に、好きにすればー」

「オイ！-！-！」

ダイチわあたしの体を

触れうと、手を出して來た。

その手を叩き、あたしわ

飛び下りた。

「ちゅうなさい。

みんな。」

バタツッ！！

ツ！？

あたしわ、

死んでなかつた。

落ちた場所わ

水の中。

川？？

「なんで死ぬヂヤマを・・・・・

氣がつくと、

1人のおばさんが・・・・

「二二は、あなたみたいに

自殺した人があおい

場所。

だから、死ねないように、水を張つてるの。

だから、あなたも、

死んでわダメ！！

どんなに厳しい苦しい道でも、

進まなきやーー。」

「無理です。

あたしにわ・・・・・・・・・・・・・・

「話してみなさい。

あなたがそこまで、

死にたいと思う

理由を・・・」

あたしわ、この人に

話した。

全て・・・

リスクの事も・・・

全て・・・・・

そしたら、
「心が軽くなつたでしょ??

れあ生きましょう。

私と一緒に！！

「はい。」

あたしわ何故か

死ぬ事を決意した、自分に腹が立つた。

それから、通院して。

体わ治つた。

でも、ダイチとわ

あの日以来はなしてナイ／＼

生ある事ーー！

あたしわ、ダイチにはなしてみた。

今まであたしが変わった理由を・・・

ダイチわ

涙を流して

最後まできいてくれてた。

相槌をうちながら・・・・・・・

そして、最後に

” ” ゴメンな。

” ”

つて、いって、

抱きしめてくれた。

ダイチに抱きしめられて、

キズが消えた。

心の奥についた

絶対に消えないこの

深い深いキズが・・・・・

多分、ダイチの事で

ついたキズだから、

ダイチ自信が消したのだろう。

他のひとに、抱きしめられても、

消せなかつた、この

深い

深いキズは・・・

いつも簡単に

消えました。

あたしたちわ、

あれから、付き合つ事になりました。

あれから、2年。

今、あたしわ

中学1年。

もううんちんダイチも・・・・

でも、この時

この樂しい毎日は

あつとこまへ、

無くなる事に、

気がつかなかつた。

いや。

今もまだ・・・・・ダイチの事がすきだから。

認めてナニと思つ。

あなたがいた、この毎日。

それが、すべて

おもいでとなつて、

消えていくなんて・・・・・・・・

あたしわ、現在中1！！

今日もダイチと登校ーー！と思つてた。

でも、ダイチは寝坊。

あたしわ

1人で学校に・・・

それから、ダイチと
逢う事わなかつた。

～最終章～

「嘘ツ！？」

ダイチが…………？

ダイチが死んだなんて…………嘘だよね？？？」

ねえ？嘘つてゅつてよ！――――！

ねえ？

「残念だけど、
本當だ。

学校に来る途中、

トラックに・・・」

「なんで？？？」

「や。それわ。。。

「なんで、ダイチが死ななきや・・・ / /

ダイチ

ダイチ

世界で一番すきで

大切な人が・・・・・

あたしわ、泣いた。

ずっと

うつと・・・・・

ただ、時間だけが、

流れるこの部屋で・・・・・・・・・・・

(神様?)

あなたは、やつぱり、

いじわるだね。

ダイチわ何もしてない。

悪い事も・・・・・

クラス替えも、

病院でのことも・・・・・

あなたわ、いじわるだ。

一度、神様を、

信じた事がありました。

でも、やつぱりあなたわ

神様なんかでわなく

いじわるな、

人です。

今、あなたにたくさん

聞きたい事でいっぱいです。

どうして、あたしの前から、ダイチを隠したの?????

どうして、??

ダイチが貴方になにかしたの?????

神様なら、トランクに

ひかれそうに、なつた

ダイチを助けられたンチャ、ないの????

なんで、助けてあげないの？？

いつまでも、聞きたい事あるよ。

でも、今はしゃがでないの。

ー 気にたくさんの事あつすぎたから・・・・。

ダイチ。痛かったよね？？

あたしが、変わつてあげたいよ。

ダイチ・・・・・

ダイチ・・・・・

あれから、1年。

今は、中学2年生。

わたしは、いまでも

ダイチに恋します！

もう一生ダイチにわ

逢えないけど、

生まれ変わって、

あたしの所に帰つて来てくれるのを、

まついる。

待ってるから。

いつか、

いつか、

戻ってきてね。

あたしの

あたしの

大好きな

ダイチ。 。 。 。

ずっと、 イマのままで

いるから。

だから、 じめのだけ早く・・・・

迎えに来て！！！

あたしが、ダイチに
恋して、

やく5年……！

いろんな事があつたけど、

楽しかつたよ……！

ずっと、

ずっと、

あなたが

好きでした。

あたしに

ダイチがいない世界わ

無理だつたけど。

今はもう大丈夫!!

だから、安心して!。

ぢやあ。ダイチが戻つてくるまで、

何年も、何十年も

待ってるから。

違う世界で生きてみるのも、

悪くナイかもね。

淋しいけど

あたしの

心には

ダイチが張ってくれた

心のキズに張つてくれた、

絆創膏が光つたのが、

分かつた。

ここで、繫がつてるもん！――！――！

ぢやあ、また、いつの日か・・・・・

あえるのを楽しみにしてます。。。。

苦い恋だつた

その上辛かつた。

でも、あなたは

一生あたしの中で

生き続けるよ！

あたしの中で

ずっと。

永遠に。

ありがとう

ダイチ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5222c/>

~ 苦い恋愛話 ~

2010年10月11日01時56分発行